

1 前期選抜

全日制（地域連携アクティブスクールを除く。）及び定時制の課程の全ての学校・学科で実施します。

この選抜においては、各高等学校は、第1日に5教科の学力検査を実施し、第2日に面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査の中から、学校の特色に応じて一つ以上の検査を実施します。そして、調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び各高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

学力検査において、国語の聞き取り検査、英語のリスニングテストを実施します。

(1) 前期選抜枠

選抜枠は、各高等学校の普通科及び普通科から改編した総合学科では募集定員の30%以上60%以内、専門学科及び総合学科（普通科から改編した総合学科を除く。）では50%以上100%以内の範囲から各高等学校が定めており、その割合（%）を別表に記載してあります。

なお、県立関宿高等学校は、特別入学者選抜を実施するため募集定員の20%程度となります。

選抜枠の割合ごとの学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

前期選抜枠	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
100%	40校 80学科 (40校 80学科)	2校 3学科 (2校 3学科)
80%	5校 5学科 (5校 5学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
75%	5校 7学科 (5校 7学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
70%	2校 2学科 (2校 3学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
60%	102校104学科 (102校104学科)	15校16学科 (15校16学科)
50%	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
20%程度	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

(2) 各高等学校において実施する第2日の検査の内容

各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施します。各高等学校において実施する検査は別表のとおりです。

ア 各検査を実施する学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

前期選抜の 第2日の 検査内容	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
面接	84校134学科 (87校140学科)	17校20学科 (17校20学科)
集団討論	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
自己表現	51校 76学科 (50校 74学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
作文	13校 16学科 (13校 16学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
小論文	1校 2学科 (1校 2学科)	1校 1学科 (1校 1学科)
適性検査	9校 16学科 (9校 17学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
学校独自問題 による検査	0校 0学科 (0校 0学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
その他の検査	1校 1学科 (1校 1学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

イ 実施する検査の数について () は昨年度のデータ

前期選抜の 第2日の 検査の数	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
一つの検査	99校154学科 (97校151学科)	15校18学科 (15校18学科)
二つの検査	30校 46学科 (32校 50学科)	2校 2学科 (2校 2学科)

(3) 志願理由書の提出について

平成27年度入学者選抜から、出願時に志願理由書の提出を求めるか否かを、学科ごとに定めています。

志願理由書の 提出	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
提出を求める	7校 9学科 (9校 13学科)	10校12学科 (10校12学科)
提出を求め ない	119校191学科 (118校188学科)	7校 8学科 (7校 8学科)

なお、志願理由書とは、志願者本人が、当該高等学校・学科を志願する動機や理由等、自己アピールについて定められた様式で作成するものです。

2 後期選抜

全日制（地域連携アクティブスクールを除く。）及び定時制の課程の全ての学校・学科で実施します。ただし、前期選抜枠を100%と定めた学科において、前期選抜等により入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たす場合には実施しません。

この選抜においては、各高等学校は、5教科の学力検査を実施し、面接等の必要に応じた検査を実施します。そして、調査書、学力検査の成績及び面接等各高等学校が必要に応じて実施した検査の結果等を資料として総合的に判定します。

学力検査において、国語の聞き取り検査、英語のリスニングテストを実施します。

(1) 各高等学校が必要に応じて実施する検査の内容

各高等学校は、必要に応じて面接等の検査を実施します。各高等学校において実施する検査は別表のとおりです。

ア 各検査を実施する学校・学科の延べ数 () は昨年度のデータ

後期選抜で必要に応じて実施する検査内容	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
面接	80校135学科 (82校137学科)	17校20学科 (17校20学科)
作文	0校 0学科 (0校 0学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
適性検査	5校 5学科 (5校 5学科)	0校 0学科 (0校 0学科)
その他の検査	0校 0学科 (0校 0学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

イ 実施する検査の数について () は昨年度のデータ

後期選抜で必要に応じて実施する検査の数	全日制の課程 123校200学科 (124校201学科)	定時制の課程 17校20学科 (17校20学科)
一つの検査	80校134学科 (82校136学科)	17校20学科 (17校20学科)
二つの検査	3校 3学科 (3校 3学科)	0校 0学科 (0校 0学科)

「必要に応じて実施する検査」を実施しない学校・学科が、全日制では47校63学科（46校62学科）あります。

3 海外帰国生徒の特別入学者選抜（全日制の課程）

この選抜においては、調査書等の書類の審査及び各高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

(1) 実施する学校・学科 () は昨年度のデータ

全日制公立高等学校 20校26学科（20校26学科）

(2) 各高等学校の検査の集計 () は昨年度のデータ

面接 18校23学科（18校23学科）

自己表現 4校 4学科（4校 4学科）

作文 4校 6学科（4校 6学科）

4 地域連携アクティブスクールの一期入学者選抜及び二期入学者選抜

地域連携アクティブスクールに指定された高等学校においては、前期選抜及び後期選抜と同じ日に一期入学者選抜及び二期入学者選抜を実施します。ただし、一期入学者選抜枠を100%と定めた高等学校において、一期入学者選抜等により入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たす場合には、二期入学者選抜は実施しません。

この選抜においては、調査書等の書類の審査及び高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

- (1) 実施する学校・学科
県立泉高等学校普通科、県立船橋古和釜高等学校普通科、
県立流山北高等学校普通科、県立天羽高等学校普通科
- (2) 一期入学者選抜枠
県立泉高等学校普通科 70%、県立船橋古和釜高等学校普通科 100%、
県立流山北高等学校普通科 80%、県立天羽高等学校普通科 80%
- (3) 検査の内容
 - ア 一期入学者選抜
 - (ア) 県立泉高等学校
第1日 学力検査（国語、数学、英語）、作文
第2日 面接
 - (イ) 県立船橋古和釜高等学校
第1日 学力検査（国語、数学、英語）、作文
第2日 面接
 - (ウ) 県立流山北高等学校
第1日 学力検査（国語、数学、英語）、作文
第2日 面接、自己表現
 - (エ) 県立天羽高等学校
第1日 学力検査（国語、数学、英語）、作文
第2日 面接、自己表現
 - イ 二期入学者選抜
 - (ア) 県立泉高等学校 学力検査（国語、数学、英語）、面接
 - (イ) 県立船橋古和釜高等学校 学力検査（国語、数学、英語）、面接
 - (ウ) 県立流山北高等学校 学力検査（国語、数学、英語）、面接
 - (エ) 県立天羽高等学校 口頭試問、面接

5 通信制の課程の入学者選抜 一期入学者選抜

通信制の課程においては、一期から五期に分けて入学者の選抜を実施します。

この選抜においては、調査書、志願理由書等の書類の審査及び高等学校で実施した検査の結果を資料として総合的に判定します。

- (1) 実施する学校・学科
県立千葉大宮高等学校普通科
- (2) 一期入学者予定人員
予定人員は、募集定員から、通信制の課程の入学者選抜五期（秋季入学）入学者選抜の募集人員（募集定員の10%程度）を減じた人数の50%程度
- (3) 検査の内容
面接及び作文

6 前期選抜及び後期選抜における各検査の内容の概略

- (1) 面接
学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは、一般常識等を問う検査。
- (2) 集団討論
複数の受検者に対して、同一のテーマを与え、司会者を定めずに自由に討論をさせる検査。
- (3) 自己表現
決められた時間内において、あらかじめ受検者が申告するなどした実施形態によって発表をさせる検査。
- (4) 作文
指示された題名のもとに（自由に書かせることを含む。）文書を作成させる検査。
- (5) 小論文
ある文章や資料等を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等をみる検査。
- (6) 適性検査
専門学科の特色に応じて行う実技等の検査で、運動能力に関する検査、各学校が指定する実施形態によって行う検査。
- (7) 学校独自問題による検査
基礎・基本の定着をみる問題（別表では「基礎」と表記。）、思考力・応用力をみる問題（「応用」）又は教科横断的な総合問題（「総合」）による検査。
- (8) その他の検査
(1)～(7)以外で、あらかじめ学校が示した方法による検査。
例
・集団に課題を与えて、活動を観察する検査（集団適性検査）。